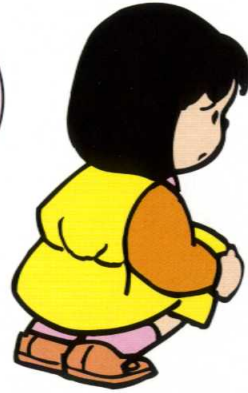


小学生の人権ってなあ～に？



もっと私のこと、
ちゃんと見守って
ほしいのになあ。



- 子どもの様子を日ごろから温かく見守り、観察していなければ、子どもの変化、そして子どもからのSOSを見逃してしまいます。
- 子どもが何かをしようとしているときは手出しし過ぎないようにしましょう。そうすることで子どもは達成感を味わうことができ、自立へとつながります。



お前は どうして
そんなに出来が悪いのだ！
他の子はできるのに…。

そんなに怒ってばかりじゃ
やる気がなくなっちゃうよ。



- 子どもを叱ってばかりいると、子どもは自信を失ってしまいます。子どものいいところ、がんばったところを見つけてほめてあげましょう。そうすることで子どもの長所をもっと伸ばすことができます。
- 子どもは兄弟姉妹や友だちなど他の人と比べられると、自尊心を傷つけられてしまいます。その子のいいところを見つけましょう。
- 子どもを感情的に叩いたり、蹴ったりする行為は児童虐待であり、絶対に許されない行為です。



私たちは…
権利で守られています。
◇しないといけないことはきちんとします。
◇決まりを破ったり、他の人に迷惑をかけないようします。

中学生の人権ってなあ～に？



こんな成績じゃ、
目標の道を歩めんぞ！

ゲームばかり
しないで、
勉強しなさい！



勉強のことばかり。
ぼくの話は全然聞いてくれない。



中学生は、自分らしさを追求しながら、大人への移行を開始する時期です。彼らの考えを認めようとせず、意見を聞かないで一方向的に指示したりすることは、人権を傷つけることになります。

- まず、意見をよく聞き、理解するようにしましょう。
- 適切な距離を保ちながら、成長を支援しましょう。
- 一人ひとりに応じたきめ細かな相談にのりましょう。



名のらずに、
変なメール！
卑怯だわ！
消去して忘れよう。



「うざい！」
「キモイ！」
「いい子ぶりっ子！」
「消えてしまえ！」



携帯電話は便利である反面、いろいろな人権問題もあります。相手のいやがるメールを匿名で送ることは、心を傷つけます。絶対に止めましょう。

- 携帯電話がもたらす危険性を十分知っていますか？子どもに教えましょう。
- 子どもの携帯電話の利用状況を把握し、利用のルールを決めましょう